

災害の特徴を知る

土砂災害

土砂災害は、降雨時期に多く発生し、被災地域が比較的狭い範囲に限られる割に、被災者の死傷率が高く、人家などに壊滅的な被害を与えることの多い災害です。平時より土砂災害の前兆現象に注意をはらい、地域ぐるみの災害対応が適切に行えることができるようにしておくことが求められます。

● 土砂災害の種類 ●

土石流



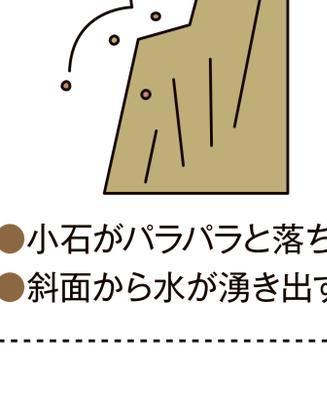
長雨や集中豪雨などの大量の雨水によって山や川底の石や土砂が一気に押し流され、一瞬にして家屋や田畑等を破壊します。

主な前兆現象



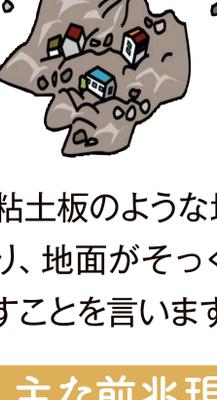
- 雨が降り続けているにも関わらず、川の水が急に減り始める。
- 川の水が急に濁ったり、流木が流れ始める。

がけ崩れ



急傾斜地の斜面が、地震や大雨等の影響により、一気に崩れ落ちることを言います。

主な前兆現象



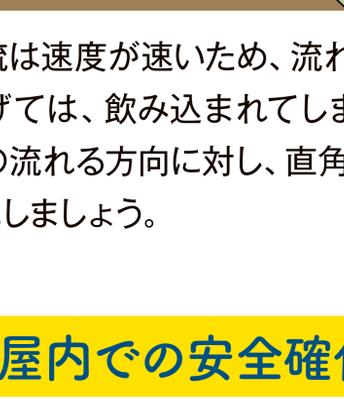
- 小石がパラパラと落ちてくる。
- 斜面から水が湧き出す。

地すべり



地下水が粘土板のような地面にしみこむことにより、地面がそっくり斜面の下方に動き出すことを言います。

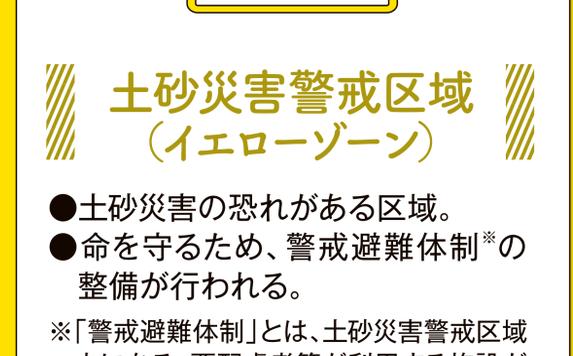
主な前兆現象



- 地面にひび割れができる。
- 地面の一部が陥没したり、隆起したりする。

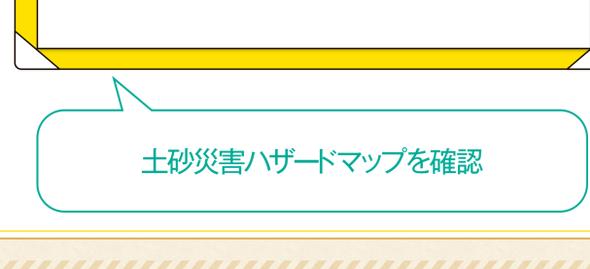
● やむなく土砂災害に遭遇した場合 ●

直角避難



土石流は速度が速いため、流れを背にして逃げては、飲み込まれてしまいます。土砂の流れる方向に対し、直角に逃げるようにしましょう。

屋内での安全確保



屋外への避難が、かえって危険な場合は、家の中のより安全な場所（自宅の2階以上の、崖の反対側など）で、安全確保をしましょう。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

- 土砂災害の恐れがある区域。
- 命を守るため、警戒避難体制*の整備が行われる。

*「警戒避難体制」とは、土砂災害警戒区域内にある、要配慮者等が利用する施設が定める避難体制のこと。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

- 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）と同様、土砂災害の恐れがある区域であり、建物の損壊や、命にかかわる危険性が特に高い地域。
- 建物を建てる時など、許可を受ける必要がある。

土砂災害ハザードマップを確認